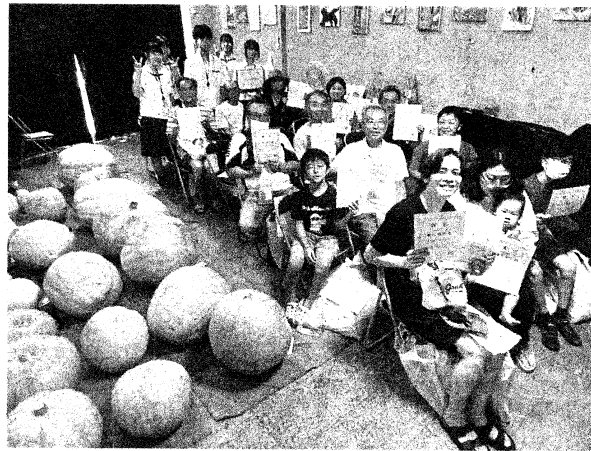


境野さんが優勝果たす

富士宮高校
会議所
ジャンボカボチャコンテスト

富士宮高校会議所主催の「第3回ジャンボカボチャコンテスト」の表彰式がこのほど、富士宮市西町の西町レトロ館で開かれた。耕作放棄地等でマスマス元肥(げんぴ)を使って栽培したカボチャの重量等を競うコンテストで、一番のジャンボカボチャを育てた境野勝美さん(一般部門)が優勝した。



ジャンボカボチャと入賞者の皆さん

同会議所では、ニジマスの残渣(ざんさ)と朝霧牛の糞(ふん)で作ったSDGs実践たい肥「マスマス元肥」

入賞者には賞状のほか、ニジマスふりかけとお茶漬け、マスマス元肥が贈られた。優勝した境野さんは「3年目にしてようやく優勝できてうれしい」と喜びを語った。

今回は、「マスマス元肥を使って耕作放棄地をよみがえらせよう!! プロジェクト第3弾」としての取り組み。市内外の14個人と5団体から、ずっしりとした重量級カボチャ19点が出展された。一番のジャンボカボチャは一般部門の境野さんが育てたもので、重量73.50キ。2位は昨年、一昨年の覇者大橋美佐子さんの54.50キだった。

上位入賞者は次の皆さん。
◇未就学部門
①實石勝利(1歳、3.50キ)

◇小学生部門

生、1.85キ

◇中学生部門

3年、4.25キ

- ①篠原綾汰(上野5年、29.00キ) ②森方浩雅(富士根南3年、22.80キ) ③とがみえ琉士(同1年、12.60キ) ④森方浩輝(富士根南3年、48.60キ)
- ①篠原璃音(上野3年、50キ) ②境野勝美(73.50キ) ③大橋美佐子(54.50キ) ④吉田隆行(48.60キ)